景観配慮チェックリスト（上野駅周辺地区（視認されない高層部＋低層部））

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | |  | **景観配慮事項** | **事業者が配慮した内容** |
| 建築物・工作物 | 高さ | 視認されない高層部 | ●国立西洋美術館前の眺望点からの景観シミュレーションを行い、見え方に配慮した建物高さとする。 |  |
| ●上野駅前広場や西郷像前の眺望点からの景観シミュレーションを行い、見え方に配慮した景観を形成する。 |  |
| 形態・意匠・色彩 | 視認されない高層部 | ●日本の玄関口にふさわしい、風格が感じられる景観の形成に向け、上野駅を意識した秩序や落ち着きのあるデザインとする。 |  |
| ●建築物全体のバランスだけでなく周辺の建築物などとの調和や圧迫感の低減を図る。 |  |
| 低層部 | ●日本の玄関口にふさわしい、賑わいの中にも風格が感じられる景観を形成する。 |  |
| ●上野駅前広場や通りに面して、オープンスペースや賑わいの連続性を創出するとともに、まちの活気やアクティビティが豊かにひろがるまち並み景観を形成する。 |  |
| ●建物の地上レベルから上野恩賜公園レベルにおいては、ヒューマンスケールが感じられるデザインに配慮する。 |  |
| パブリックスペース等 | | | ●上野恩賜公園とまち、駅を分かりやすくつなぐため、賑わいと潤いが連続した景観を形成する。 |  |
| ●地上レベルから上野恩賜公園レベルまでのパブリックスペースには、上野恩賜公園から連続した緑の景観を重層的に形成する。 |  |
| ●上野駅の正面性を活かした居心地の良い広場景観を形成する。 |  |
| ●地域に開かれたパブリックスペースの活用により、賑わいや活気ある景観を形成する。 |  |
| 屋外広告物 | | 視認されない高層部 | ●周辺の景観特性と調和し、秩序や風格のある広告景観を形成する。 |  |
| ●主要な眺望点（国立西洋美術館前庭及び上野駅前広場、西郷像前）や、パンダ橋、ジュエリーブリッジなどからの見え方に配慮した広告景観を形成する。 |  |
| 低層部 | ●周辺の景観特性と調和し、秩序や風格のある広告景観を形成するとともに、周辺の商業エリアとの賑わいの連続性に配慮する。 |  |
| ●主要な眺望点（上野駅前広場及び西郷像前）や、パンダ橋、ジュエリーブリッジなどからの見え方に配慮した広告景観を形成する。 |  |